

令和5年度 設置者（県）の取組状況

1 東アジア文化都市事業の実施

令和5年に開催した「東アジア文化都市 2023 静岡県」は、事業数 979 本、来場者数 1,345 万人、経済効果 389 億円と、これまでの開催都市を大きく上回る事業を実施し、幅広く文化活動を展開することができました。

東アジア文化都市実行委員会の委員として、木下館長も文化施設の代表として名を連ね、県立美術館で開催する企画展やイベントは、東アジア文化都市のコア事業として位置付け、広く情報発信を行いました。

11月に県立美術館で開催した「ロダンウィーク」では、一般社団法人アジア芸術文化促進会と連携して、中国の選定都市である成都市・梅州市の伝統文化を紹介するイベントも併せて実施し、文化交流を通じ本年度 30 周年を迎えるロダン館のPRにも繋げる事ができました。

東アジア文化都市 2023 静岡県を通じて生まれたつながりや取組を一過性のものとすることなく、文化で地域を盛り上げる機運を継続し、地域に根ざすことのできる仕組みを構築することを目指していきます。

「東アジア文化都市 2023 静岡県」の実績

区 分	目標値	実績値
事業数	500 事業以上	979 本
来場者数	360 万人以上	1,345 万人
経済効果	100 億円以上	389 億円

＜参考＞直近の先催都市の実績

区 分	R 元	R2, 3	R4	R5	過去最高
開催都市	豊島区	北九州市	大分県	静岡県	—
事業本数	397 本	214 本	非公表	979 本	397 本
来訪者数	353 万人	164 万人	非公表	1,345 万人	357 万人
経済効果	約 9 億	約 16 億	非公表	389 億円	約 91 億

2 文化観光推進法に基づく地域計画の申請について

県立美術館をはじめとした多くの文化資源が集積する日本平周辺の地域としての連携を強化し、文化観光の振興と地域の活性化につなげることを目的として、文化観光推進法に基づく地域計画を令和6年6月に文化庁に申請しました。

今回の申請については、残念ながら認定にいたりませんでした。今後も引き続き、県立美術館をはじめとした周辺文化施設、観光施設、観光事業者、交通事業者等との連携を深め、日本平地域の文化観光を推進し、国内外からの来訪者を増やしていきたいと考えております。

3 美術館の修繕

県立美術館は昭和61年4月に開館し、令和5年度で37年目となりました。そこで、文化政策課では、資産経営課と連携し、令和元年度に行った劣化診断業務委託の結果をもとに中期維持保全計画（5年間の修繕計画）を策定し、修繕工事などを計画的に進めています。

(1)劣化診断の結果 (R1)

区分	部材・設備機器	症状	対応方針	実施(予定)
建築	展示移動壁	穴・補修跡が相当数あり	改修	R3 済
	乗用・荷物用エレベータ	耐用年数超過	更新	R3 済
	外壁タイル剥離	外壁全面打診調査(R2)結果により実施	改修	R5 済
電気	監視カメラ設備	保守部品入手不可・機能低下	更新	R4 済
	展示室スポットライト	照明効率の低下	更新	R3 済
機械	吸収式冷凍機・スクリーユ冷凍機	故障頻発、劣化	更新	R5 済
	ハロゲン消火装置	耐用年数超過	更新	R3 済
	ファンコイルユニット	故障頻発	更新	R4 済
舞台	講堂舞台照明	保守部品入手不可、劣化	更新	R6
	講堂舞台音響設備	故障、保守部品入手不可	更新	R6

(2) 中期維持保全計画

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6	合計
委託料	9,767	4,802	10,848	6,026	0	31,443
工事費	170,797	240,511	153,533	311,256	184,000	1,060,097
合計	180,564	245,313	164,381	317,282	184,000	1,091,540

(3) 令和5年度の美術館改修工事

項 目	内 容
工事期間	令和5年12月～令和6年2月（3ヶ月）
金 額	311,256 千円
改修工事 の内容	本館非常用発電設備更新、本館外壁タイル他修繕、本館 吸収式冷温水発生機（R-4）他更新など